

今回のトレーシングレポート通信は重複処方の事例、自己中断の事例、副作用による処方提案の事例です！

No.22
2024年2月号

事例①：処方重複のため処方削除となった事例

処方

79歳 男性 当院 腎泌尿器外科			
酸化マグネシウム錠250mg	1回2錠	1日1回	夕食後
デキサメタゾン錠0.5mg	1回1錠	1日1回	朝食後
アビラテロン酢酸エステル錠250mg	1回3錠	1日1回	寝る前
セレコキシブ錠100mg	1回1錠	1日2回	朝・夕食後
当院 外科			
酸化マグネシウム錠250mg	1回2錠	1日2回	朝・夕食後
テガフル・ウラシルカプセル100mg	1回1CP	1日3回	8時間毎
ホリナートカルシウム錠25mg	1回1錠	1日3回	8時間毎

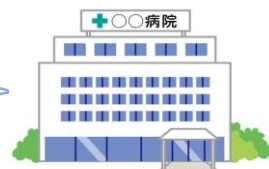
📌 重複処方の削除希望あり。

保険薬局より

報告内容	☐ 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)	☐ 服薬状況
	☐ リフィル処方箋 ☐ 副作用(重篤でないもの)	☐ 他院処方(重複、相互作用)
	☐ 抗がん剤 (☐ 経口 ☐ 注射)	☐ オピオイド
	☐ 手 技 (☐ 自己注射 ☐ 吸入薬 ☐ その他)	☒ その他 ()
情報提供・提案事項 腎泌尿器外科から処方の酸化マグネシウム錠250mgを1回2錠1日1回 夕食後で服用していましたが便秘が悪化、その後外科から酸化マグネシウム250mg 1回2錠1日2回 朝・夕食後で処方され、この用法用量で服用されておりその後は便秘が改善しています。 酸化マグネシウム錠が重複となるため外科の処方のみにすることは可能でしょうか。 ご検討よろしくお願いします。		

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。
内容を確認し、カルテ記載で主治医に報告しました。



その後の経過

腎泌尿器外科からの処方が削除となり、その後便秘の訴えなし。

他院との重複処方があった場合は疑義照会をお願いします。
また、薬剤の再開によって薬剤が重複する場合はトレーシングレポートでご報告をお願いします。

事例②：副作用を疑い内服を自己中断した事例

処方

65歳 女性 皮膚科	
エピナスチン塩酸塩錠20mg	1回1錠 1日1回 朝食後
アプレラスト錠スターターパック	医師の指示通り内服
ベタメタゾン吉草酸エステルVGローション	1日2回 頭
カルシポトリオール水和物ベタメタゾンジプロピオン酸	1日1回 体
エステル軟膏	
ヒドロコルチゾン酪酸エステル軟膏	1日1回 顔

保険薬局より

👉 尋常性乾癬に対して、アプレミラスト錠が内服開始となったが、腹痛と下痢になったため、自己中断している。

☐ 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)	☒ 服薬状況
☐ リフィル処方箋 ☒ 副作用(重篤でないもの)	☐ 他院処方(重複、相互作用)
☐ 抗がん剤 (☐ 経口 ☐ 注射)	☐ オピオイド
☐ 手 技 (☐ 自己注射 ☐ 吸入薬 ☐ その他)	☐ その他 ()

情報提供・提案事項

〇月〇日からアプレミラスト錠を服用開始し、3日間服用した時点で、ひどい腹痛と下痢が起こり、自己判断で一旦内服を中止、治まったので内服を再開、1日半服用をした時点で再びひどい下痢と腹痛が起こり、現在も服用を中止しており、しばらく飲みたくないと仰られています。

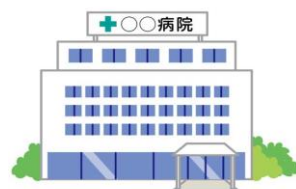
このまま服用を中止してもよろしいでしょうか。

現在5日目の午前中分までを服用されている状況です。

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。内容を確認し、電話にて主治医へ報告しました。

アプレラスト錠を内服中止してもよいが、他に何か気になる症状があれば再受診するようにとの指示がありました。



その後の経過

次回受診時にアプレミラスト錠が内服再開、酪酸菌錠が処方追加となった。しかし、再び腹痛と下痢のためアプレミラスト錠を4日目で内服を中止した。その後膿胞性乾癬のためアプレミラスト錠からクラリスロマイシン錠へ薬剤変更となった。

副作用のため内服を自己中断した事例でした。
今回の事例のように急ぎの対応が必要と判断した場合は、電話にて医師に確認させていただいています。

事例③：貼付剤で痒みの訴えがあり、変更を提案した事例

処方

89歳 男性 内科・麻酔科			
ロサルタンカリウム錠50mg	1回1錠	1日1回	朝食後
カルベジロール錠10mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ランソプラゾールOD錠15mg	1回1錠	1日1回	朝食後
クロピドグレル錠75mg	1回1錠	1日1回	朝食後
フロセミド錠20mg	1回1錠	1日1回	朝食後
タムスロシン塩酸塩錠0.2mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ロスバスタチンOD錠5mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ニフェジピンCR錠20mg	1回1錠	1日1回	朝食後
ダパグリフロジンプロピレングリコール錠	1日1錠	1日1回	朝食後
センノシド錠12mg	1回1錠	1日1回	寝る前
レンボレキサント錠2.5mg	1回1錠	1日1回	寝る前
ニコランジル錠5mg	1回1錠	1日3回	毎食後
硝酸イソソルビドテープ	1回1枚	1日1回	
フルルビプロフェンテープ20mg	1回1枚	1日1回	
ケトプロフェンテープ40mg	1回2枚	1日1回	

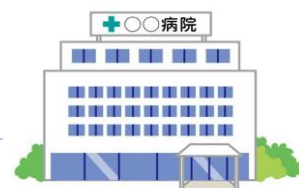
👉フルルビプロフェンテープで痒みが出る。

保険薬局より

報告内容	☐ 薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)	☐ 服薬状況
	☐ リフィル処方箋 ☒ 副作用(重篤でないもの)	☐ 他院処方(重複、相互作用)
	☐ 抗がん剤 (☐ 経口 ☐ 注射)	☐ オピオイド
	☐ 手 技 (☐ 自己注射 ☐ 吸入薬 ☐ その他)	☐ その他 ()
情報提供・提案事項 貼り薬（フルルビプロフェンテープ）についてです。痒くなる場合が多くなってきた、と言われていました。フェルビナクパップには、添加物としてクロタミトン（かゆみ止めの成分）が含有されております。次回以降、貼り薬のご処方の際、ご検討いただけると幸いです。		

薬剤部より

情報提供ありがとうございます。
内容を確認し、カルテにて主治医へ報告しました。



その後の経過

次回受診以降も継続して処方。その後、痒みの訴えや薬剤変更の希望もなく、フルルビプロフェンテープを継続している。

薬学的な考えのもと、処方提案を行った事例でした。今回の事例では提案通りにはなりませんでした。今後も積極的な処方提案をお願いします。